2021年入社式　誓いの言葉

本日は私たち新入社員のために、このような素晴らしい入社式を開催していただき、誠にありがとうございます。新型コロナウィルスが流行する時世ではありますが、感染対策等様々な気遣いの上で今日この式に参加できたことを、新入社員を代表し心より御礼申し上げます。

ただいま樋口社長より貴重なお言葉を頂戴しました。本日より私たちは東北電力株式会社の一員として、また一社会人としての一歩を踏み出します。本日頂いた激励の言葉をしっかりと胸に刻み、業務に励んで参りたいと決意を新たにしております。

先月11日で東日本大震災から10年が経過しました。しかし、その痛々しい記憶が薄れることはなく、今年2月には震災の余震と推測される福島県沖地震が東北地方を襲い、私たちの生活が常に地震の恐怖と隣り合わせであるということを改めて痛感させられました。そんな地震を始めとする災害が数多く発生する地域だからこそ、東北・新潟地域に住む人々に「より、そい」、灯りをともし続けるという私たちの仕事の責任の大きさは計り知れません。これからはその責任の重みを私たち新入社員一人ひとりが自覚し、地域から信頼を得てきた先輩方の伝統と精神を受け継いで、責務を全うして参ります。

今、社会は大きく変わることを余儀なくされています。新型コロナウィルスの流行は1年を経過した今でも止まることはなく、それに伴い、新たな生活様式が様々な場面で取り入れられています。また、電力業界内においても、菅首相が所信表明演説において「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」という目標を明確にする等、エネルギーを取り巻く環境が大きな転換点を迎えていると実感しています。目まぐるしく変化していく社会に適応し、挑戦し続ける姿勢がこれからは特に重要であり、私たち新入社員にも求められていると考えています。目の前の仕事の積み重ねに精進したうえで、私たちそれぞれが、東北の未来像をしっかりと思い描き、挑戦の姿勢を持ち続けることが東北電力、そして東北地域の繁栄につながると信じています。

本日、新たなスタートを切った私たちは知識・経験が共に浅く、これから多くのことを学び身に着けていく必要があります。初めは先輩方に教えて頂くことばかりであると思いますが、一日も早く地域に貢献できるよう、自己研鑽に励んでまいりますので、役員の皆さまをはじめ、先輩社員の皆さまには、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

最後になりますが、私たち新入社員は本日の決意を忘れることなく、東北電力の社員として誇りと使命感を胸に、誠実に職務を遂行してまいります。さらなる成長と発展のために様々なことに挑戦していくことをお誓いし、新入社員代表の言葉とさせていただきます。

2021年4月1日　新入社員代表　早水　敦芽